環境省が実施した HBCD の予備的な毒性評価結果の 分析結果における異性体構成比の修正について

平成22年9月3日に開催した薬事・食品衛生審議会薬事分科会化学物質安全対策部会、化学物質審議会安全対策部会、中央環境審議会環境保健部会化学物質審査小委員会及び平成22年9月17日に開催した薬事・食品衛生審議会薬事分科会化学物質安全対策部会化学物質調査会、化学物質審議会審査部会、中央環境審議会環境保健部会化学物質審査小委員会において、環境省が実施しHBCDの予備的な毒性評価(6週鳥類繁殖毒性試験)結果を示したが、被験物質として使用したHBCDの異性体構成比に誤りがあったため、以下の通り修正する。

<修正前>

異性体構成比 α 体: 27%、 β 体: 30%、 γ 体: 43%

分析機関:株式会社住化分析センター

<修正後>

異性体構成比 α 体:12-13%、 β 体:9-11%、 γ 体:76-78%

<今回の分析結果詳細>

①独立行政法人国立環境研究所

 α 体: 12%、 β 体: 11%、 γ 体: 76% (1回目) α 体: 12%、 β 体: 10%、 γ 体: 77% (2回目)

②財団法人畜産生物科学安全研究所

 α 体: 13%、 β 体: 10%、 γ 体: 77% (1回目) α 体: 13%、 β 体: 10%、 γ 体: 77% (2回目)

③いであ株式会社

α体: 12.3%、β体: 9.3%、γ体: 78.4%

④株式会社住化分析センター

α体: 12.0%、β体: 23.3%、γ体: 64.7%